

遺伝子診療部

遺伝子診療部の開始について

当院は2021年4月に「がんゲノム医療連携病院」の指定を受け、がんゲノム医療拠点病院である広島大学病院と連携して、「がん遺伝子パネル検査」を行うこととなりました。

がんゲノム医療について

「がん」は様々な遺伝子の異常が積み重なることで発症し、その遺伝子の異常は患者さんごとに異なることが近年の研究により判ってきました。がん遺伝子を網羅的に調べ、個別に最も適した抗がん薬の情報を提供するのが、「がん遺伝子パネル検査」による「がんゲノム医療」です。今までは一部の施設で自由診療として実施されていましたが、2019年6月1日に保険診療として導入されました。

がんゲノム医療外来の対象となる方

保険適応の対象となる患者さんは下記1, 2を満たす方です。

1. 下記のいずれかの診断を受けた方
 - ・標準的な治療法が確立されていない希少がんや原発不明がんの方
 - ・標準治療が終了となった、あるいは終了が見込まれる固形がんの方
2. 全身状態や臓器機能等から、がん遺伝子パネル検査施行後に、化学療法の適応となる可能性が高いと主治医が判断した方
ご自身が対象となるかどうかは、現在治療を受けられている主治医にご相談ください。

がんゲノム医療外来をお受けできない場合

- ・紹介状がない方(患者さんの直接予約は受け付けておりません。)
- ・がんの組織標本を提出できない方
- ・患者さん本人の来院が困難な方

がん遺伝子パネル検査費用

いずれも高額療養費制度の適応になります

・出検時 440,000 円(3割負担;132,000 円)

・検査結果説明時 120,000 円(3割負担; 36,000 円)

(注)検査費用は保険の適用となりますが、検体を提出されても、がん組織の状態によっては検査自体が困難な場合があります。その場合は費用をいただく場合があります。

当院で扱っているがん遺伝子パネル検査

OncoGuide™ NCC オンコパネルシステム

FoundationOne® CDx がんゲノムプロファイル

FoundationOne® Liquid CDx がんゲノムプロファイル

	OncoGuide™ NCCオンコパネルシステム	FoundationOne® CDx がんゲノムプロファイル	FoundationOne® Liquid CDx がんゲノムプロファイル
検査対象 遺伝子数	114	324	324
検体	腫瘍+血液	腫瘍	血液 リキッドバイオプシー
検査の タイミング	標準治療終了後		

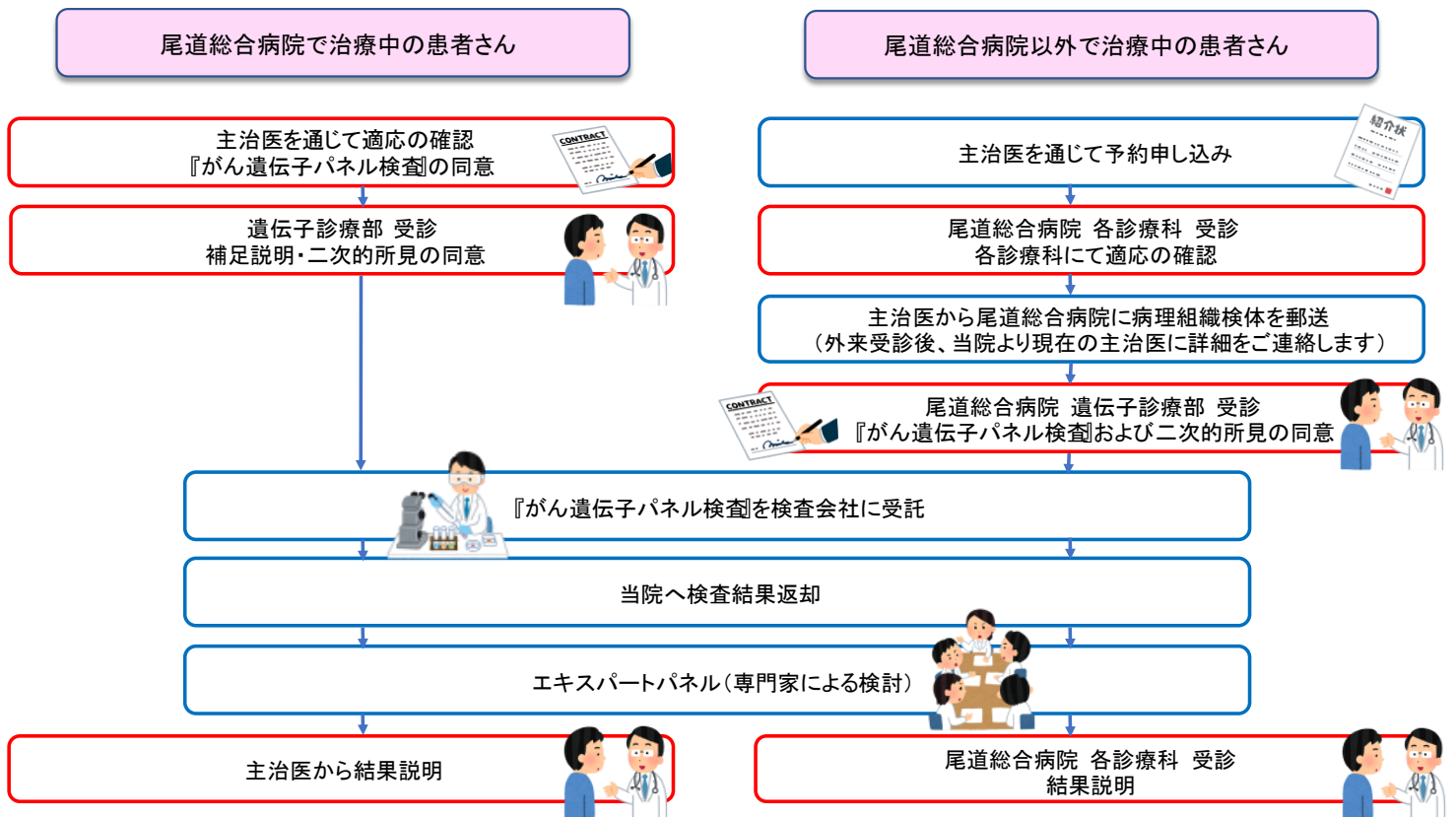
患者さんご家族の方へ

○申し込みの手順

- ・当院でがん診療を受けている方
直接当院の主治医に遺伝子診療を受けたい旨をご相談してください。
- ・当院でがん診療を受けていない方
現在治療中の医療機関の先生にご相談のうえ、医療機関より当院への紹介にて診療科での診療を行い、遺伝子診療部への受診を判断いたします。

申し込みから結果説明までの流れ

※初診から検査結果説明まで約2ヵ月の期間が必要です。



主治医の先生方へ

予約方法について

- ・お申込みは、「**紹介患者事前受付用FAX用紙**」に必要事項を記入の上、紹介状(診療情報提供書)と一緒に地域医療連携室へFAXでお申し込みください。(FAX:0848-22-5102)
- ・内容の確認を行ってから、診察日をご連絡いたします。

【重要】お知らせしたいこと

- ・がん遺伝子パネル検査は標準治療が終了した後の選択肢として考慮してください。
- ・検査の結果、実際に治療に到達できる患者さんは少なく、1割程度と報告されています。
- ・検査後の治療は、原則がんゲノム医療外来担当医ではなく、現在の主治医とご相談のうえ行っていきます。
- ・効果が期待される薬剤の情報が得られた場合でも、保険診療での治療は難しく、「自由診療」もしくは「県外施設での治験・先進医療」として治療を行う可能性が高いのが現状です。治療費は一部～全額自己負担となります。
- ・がん遺伝子パネル検査の結果に基づいて治療を行っても、治療効果が得られない可能性もあります。

受診当日持参していただく書類

- がんゲノム医療外来用診療申込書
- 紹介状(診療情報提供書)
- 病理組織診断レポート
- 最新の血液検査データ
- これまでの画像検査

パラフィン包埋(FFPE)ブロックについて

・がんゲノム医療外来受診後に、郵送方法の詳細を当院から紹介元医療機関へご連絡します。
・提出していただくパラフィン包埋(FFPE)ブロックは、当院にて必要枚数のスライドを作成後ブロックは返却いたします(腫瘍組織が残っていない可能性があります)。

・以下のような組織から作成された標本は核酸の状態が悪く検査ができない可能性があります。

1. 10%中性緩衝ホルマリン以外で固定された組織
2. ホルマリン固定時間が長い(48 時間を超える)組織
3. 切除後ホルマリン固定まで常温で 30 分以上かかった組織
4. 作成後 3 年以上経過したブロック
5. 酸性の脱灰液で脱灰した組織

エキスパートパネル(専門家会議)について

・がんゲノム医療拠点病院(広島大学病院)とのエキスパートパネル(Web 会議)に参加していただくことがあります。資料作成含め後日メールにてご連絡いたします。